



～ DO YOU KYOTO? 環境にやさしい取組をしていますか? 編～

作画: 松岡阿実

(京都精華大学 大学院 芸術研究科卒)



え〜でも そんなこと言っても 寒い嫌いやし...



あら!? やまだくん 暖房きかせすぎ じゃないですか?

ムダに電気を 使っているの ではない?

えっ!?



こんばんは! 回覧板を持って きましたあ

ありがとうございます! ございます!

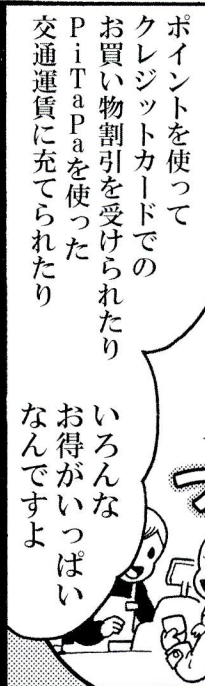


真冬に暖房が 効いた部屋で 食べるアイスは うまいな〜!

さっさん、ん、誰やろ?



じゅん



ポイントを使って クレジットカードでの お買い物割引を受けられたり PiTaPaを使った 交通運賃に充てられたり

いろんな お得がいっぱい なんですよ



たまる!

つかえる!



へらす!



エコポイント事業に 参加登録すると 電気代とガス代を 節約した分だけ エコポイントというものが 貯まります



やまだくん 京都エコポイントモデル 事業というのを ご存知ですか? なんですか それ? 簡単に言うと省エネ すると、お得なポイント がもらえるんですよ



妄想も いっぱいすか? その前にも、暖房の調節を しましよっかね!



ますます「から」 遠くなりますよん...



大豪邸に 住んだるで!!

よし! じゃあ エコして節約して お金貯めて...



さっそく やまだくんも 参加申込み(※) しませんか?



エコして節約・ お得! なんて 地球にも家計にも 優しいでしょ? 省エネで お得に...

※申込みは 2月10日(火)まで

『ついに登場、目に見えるエコ!』

<http://k-co2bank.jp/>

さてさて、ちょっとだけお久しぶりになってしまった「知ってる? 京都府」ではあるが、今月は「エコ」のお話だ。
エコ、エコロジー、エコロジカル... 別にエコ活用を言いたいわけではない。エコエコと各個に連呼する昨今(タジヤレをいいたいわけでもない)、言葉が一人歩きしていて、意外とピンと来ない言葉でもあるなあ。
様々なエコを語る上で、中でも特に大切なのがCO₂削減問題だ。エコバッグ等を使うことでも削減に貢献するのだけれど、何だか遠回りでも、自分がどれぐらい貢献しているのかが見えづらいのが残念なところ... というのが正直な感想かもしれない。
このCO₂削減問題というのは、我々一般家庭にとって、実は遠いお話になってしまっているのである。実際、産業界では企業各社をはじめとする組織の尽力によって、かなりの削減がなされているのだが、家庭での削減どころか増加しているという由々しき問題もあるのだ。これはイカン! そこで今回のお題、「京都エコポイントモデル事業」である。これは、家庭で削減に貢献したCO₂の量を算出し、その量に応じたポイントの貯めとして、最終的には電車・バスの運賃として(PiTaPa)、またはネットショップで、はたまた普通の店舗で使えるようにしよう、というものだ。
ものすごく簡単に言うと、CO₂を減らすとポイントが貯まって、お買い物なんかができるということである。
どうしてポイントに変わるのか? という点、そのCO₂削減量を、企業の協力で買いつけてもらい「CO₂削減バンク」に貯めていく、ということなのだ。ここでも産業界の力を借りるわけで、こりやもう頭が上がりない気もするが、ともあれ、これなら「どのくらい貢献したんだらうか?」という、今までは見えづらかった指標が、ポイントとして確認できるからモチベーションも湧くってものだ。
そのための登録期限も迫っている。さあ! まずはそこでつけっぱなしになっている無駄な電気やガスを止めて、ポイントを貯める準備をしよう!